

会派名簿

会派とは、政治上の主義や政策を同じくする議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

新政会	市民クラブ
橋本 弘山 ④ 濱中 俊男 ⑨ 瀧島 愛夫 ⑩ 船木 良教 ⑬	川崎 明夫 ⑰
公明党	市民ネットワーク 「いぎいぎ広場」
西川美佐保 ③ 石居 尚郎 ⑧ 露木 諒一 ⑭	門間 淑子 ⑮
日本共産党	羽村クラブ
鈴木 拓也 ① 市川 英子 ⑬ 中原 雅之 ⑱	中根 康雄 ⑫
民主党	羽村21
大塚あかね ② 馳平 耕三 ⑦	水野 義裕 ⑪
	新しい風
	小宮 國暉 ⑥
	世論
	山崎 陽一 ⑤

議席図

議長				
山崎 陽一 ⑤	橋本 弘山 ④	西川美佐保 ③	大塚あかね ②	鈴木 拓也 ①
瀧島 愛夫 ⑩	濱中 俊男 ⑨	石居 尚郎 ⑧	馳平 耕三 ⑦	小宮 國暉 ⑥
門間 淑子 ⑮	露木 諒一 ⑭	船木 良教 ⑬	中根 康雄 ⑫	水野 義裕 ⑪
	中原 雅之 ⑱	川崎 明夫 ⑰	市川 英子 ⑬	
傍聴席				

※番号は議席番号です。

市長 平成19年度の職員一人当たりの平均時間外勤務時間は年間107時間で近隣市に比較して特異なものではない。

質問 臨時職員の賃金を上げるべきでは、

市長 臨時職員の賃金については、他市との比較、東京都の最低賃金、多摩地区の一般事業所の求人賃金などを参考に見直しを行っており、平成19年度に看護師、保健師等の賃金を、平成20年度には一般事務、保育士等の賃金の引き上げを行っている。今後も他市の状況、最低賃金の改正動向および民間賃金等を参考に見直しを行う。

ターを望む高齢者は多い。市の考えは、

市長 地域包括支援センターの複数の設置化、規模拡大の検討が必要と考える。小規模多機能型居宅介護などのサービスが整備されることが望ましい。

質問 ボランティア支援の新たな対策は、

市長 「介護支援ボランティア・ポイント制度」について、調査し対応を見極めていく。

質問 介護予防の取り組みの現状は、

市長 認知症サポーター1000万人キャラバン等の取り組みを検討している。

主な議案

9月議会

こんなことを審議しました

一般会計補正予算（第2号）

今回の補正は、歳入歳出それぞれ1億2,878万4千円を増額し、予算の総額を202億3,855万円としたものです。

《補正の主な内容》

- ◇個人住民税について公的年金からの特別徴収制度が導入されるため、システムを改修します
- ◇地方税の電子総合窓口となる「エルタックス」を導入します
- ◇平成19年度決算確定により、その繰越金などを「財政調整基金」の財源として活用し、今後の財政運営に備えます
- ◇平成20年度に羽村市土地開発公社が取得した用地等の買い取りに要する額について、債務負担行為の限度額を増額しました
- ◇平成21年度から実施する市税等のコンビニエンスストアでの収納代行業務に必要な債務負担行為を追加しました

下水道事業会計補正予算（第2号）

那賀排水区の浸水対策のため、水上公園付近の那賀幹線開渠部分の改良工事を実施することから、設計委託料164万9千円、工事請負費1,200万円をそれぞれ増額しました。

ふるさと納税制度の創設など

「羽村市税賦課徴収条例」の一部改正

税制度が変わります。

- ◇個人住民税における地方公共団体に対する寄付金控除の拡充（ふるさと納税制度の創設）
- ◇公的年金からの個人住民税の特別徴収の導入
- ◇証券税制における上場株式等の譲渡益・配当に係る軽減税率の廃止と、損益通算の特例の導入

など

し尿汲み取りにシール制を導入

「羽村市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」の一部改正

し尿汲取手数料を納付していただく市民や事業者の利便性の向上と、収納事務の効率化を図るため、平成21年4月1日から、粗大ごみと同様に、いわゆるシール制を導入します。

し尿汲取手数料を、1リットル当たりの汲み取り単価から、1回当たりの汲み取り単価に改めました。

教育委員会委員任命に同意

教育委員会委員の任期満了に伴い、野崎喜久美氏・並木恒延氏を委員に任命したい旨、議会の同意を求められました。

議会はこれに同意しました。

一般質問に続き、議案等の審議を行いました。市長提出議案は21件、議員提出議案は1件、陳情は3件です。
主な議案、議決結果一覧は次のとおりです。

議決結果一覧

市長提出議案	会派名									議決結果
	新	公	共	民	ク	ネ	羽	風	世	
専決処分承認を求めることについて〔羽村市知的障害者通所授産施設条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
専決処分承認を求めることについて〔羽村市福祉センター条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
専決処分承認を求めることについて〔地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×	○	○	○	原案可決
羽村市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成20年度羽村市一般会計補正予算（第2号）	○	○	×	○	○	×	○	○	×	原案可決
平成20年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成20年度羽村市老人保健医療会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成20年度羽村市介護保険事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成20年度羽村市下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
教育委員会委員の任命について ※議案第62号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
教育委員会委員の任命について ※議案第63号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
平成19年度羽村市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	×	○	○	×	認定
平成19年度羽村市国民健康保険事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成19年度羽村市老人保健医療会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成19年度羽村市介護保険事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成19年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	×	○	○	×	認定
平成19年度羽村市下水道事業会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成19年度羽村市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

議員提出議案	会派名									議決結果
	新	公	共	民	ク	ネ	羽	風	世	
羽村市議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

陳情	会派名									議決結果
	新	公	共	民	ク	ネ	羽	風	世	
消費者行政の体制・人員・予算の抜本的拡充を求めることに関する陳情書	△	△	△	△	△	△	△	△	△	趣旨採択
「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求めることに関する陳情書	△	△	△	△	△	△	△	△	△	趣旨採択
離婚後の親子の面会交流の法制化と支援を求める陳情書	△	△	△	△	△	△	△	△	△	趣旨採択

要望書扱いとした陳情

- ◇「市民のために働けと言えぬ総務部長」に関する陳情
- ◇議会運営委員会が決める「陳情を要望書化」に関する陳情

※会派名 新：新政会 公：公明党 共：日本共産党 民：民主党 ク：市民クラブ

ネ：市民ネットワーク「いきいき広場」 羽：羽村クラブ 風：新しい風 世：世論

※各会派の所属議員については、13ページをご覧ください。

※各会派の賛否（議案） ○：賛成 ×：反対

〃（陳情） ○：採択 ×：不採択 △：趣旨採択

※議長は本会議の表決には加わりません。

一般会計

歳入は、主要財源である市税は三位一体の改革に伴う税源移譲により所得税の一部が市民税に移し替えられ増額となりましたが、所得譲与税は廃止となり、歳入全体では微増となりました。

歳出は、都市計画道路3・4・16号線立体交差事業の進捗に合わせた事業費の増加や、児童手当の乳幼児加算の創設などにより、増額となりました。

賛成 評価できる

今決算審査に当たっては、予算が適正かつ効率的に執行されたか、市民福祉の向上にどれだけ効果を上げたか等に着目し、検証した。

決算の規模は、歳入が約19.3億円、歳出が約18.9億円で、前年度に比較し歳入が0.4%、歳出が1.6%の増加であった。施策では、児童手当の乳幼児加算の創設、義務教育就学児医療費助成制度の創設、学童クラブの障害児受け入れ学年の拡大、羽村駅西口エスカレーターの設置等が実施され、評価できるものである。また、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化比率が公表され、いずれも良好な結果であった。

よって、本決算の認定に賛成する。

賛成 今後の市政運営にさらに期待

経済・社会の動向が大きく変動する中で、市民のニーズ、時代の要請にどう応えてきたのかという観点から審査をした。



平成19年度

決算 審査

一般会計決算

平成19年度一般会計決算は、5つの特別会計決算、水道事業会計決算とともに9月定例会に提出されました。

議会は、一般会計等決算審査特別委員会を設置し、9月22日・24日・25日の3日間にわたり慎重に審査を行いました。活発な質疑が行われ、また、賛成、反対それぞれ3人が意見を述べました。

一般会計決算は、本会議での採決により認定されました。

反対 市民の願いに逆行

歳入は、税源移譲、定率減税廃止などにより税収が増える一方、地方譲与税廃止、特例交付金廃止など国からの交付金が減り、全体としては微増にとどまった。財源なしの地方分権の限界があらわれている。基地交付金が本来額の4分の1以下しか交付されていないことも大きな問題である。

歳出は、小・中学生の医療費窓口負担を所得制限なしで引き下げる制度の創設、通級指導学級の新設工事など、市民の願いに応え評価できる内容がある。しかし、住民の反対が大きい羽村駅西口土地区画整理事業会計へ約2億円の繰り出しを行ったこと、生活保護世帯への助成金を廃止したことなど、市民の願いに逆行する内容も含まれている。市民は多くの施策について、さらなる充実を求めており、それらに応えることも必要であった。

以上の理由から、本決算の認定に反対である。

反対 課題解決がなされていない

医療費抑制を目的とした後期高齢者医療制度の実施に向けて、2千41万円が支出された。反対が多く訴訟中の、羽村駅西口土地区画整理事業会計には2億134万円もの繰り出しをしている。

